

大型コンクリート製品

記事提供：北陸土木コンクリート製品技術協会

平成30年 1～3月期の出荷状況は、前年同期比+267%増加した。

出荷量の大部分は、大型ボックスカルバートが75%で、主な出荷先は高田河川国道管内の弁天大橋架替改良工事に出荷された。次いでスノーシェッド・シェルター類が17%で、管外の福島県(シェッド)に出荷された。他は長尺側溝で、富山河川国道管内の芹谷道路、金沢河川国道管内の小松バイパス等に出荷され、監査廊・コンクリート舗装版の実績は無い。

平成29年度を通しての出荷実績は+23%と増である。その大半は大型ボックスカルバートが占めており、次いでスノーシェッド・シェルター、長尺側溝の順となっている。

大型コンクリート製品出荷量の推移

(単位：%、千)

県名	平成28 年度計	平成29年度					備考
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	累計	
新潟県	+18	±0	▲89	+68	+300	+26	
	4.6	0.3	0.3	3.2	2.0	5.8	
富山県	+80	▲75	▲50	▲50	±0	▲56	
	0.9	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	
石川県	±0	±0	±0	+140	±0	+600	
	0.1	0.0	0.0	0.6	0.1	0.7	
3県計	+27	▲43	▲81	+86	+267	+23	
	5.6	0.4	0.4	3.9	2.2	6.9	

(注) 大型コンクリート製品とは、大型ボックスカルバート(幅4m高3m以上で分割製作されたもの)、大型擁壁(高さ4～8mでセグメント型)、長さ5m以上の長尺側溝類、監査廊、コンクリート舗装版(融雪舗装版を含む)、スノーシェッド、スノーシェルターをいう。

協会が生まれ変わります。

平成30年4月より法人格を取得し、『一般社団法人 北陸土木コンクリート製品技術協会』となります。

過去26年間培ってきました事業は継続しつつ、北陸地方を中心としたコンクリート製品の安定供給と技術水準の向上を図ると共に、新技術・新工法～新製品の調査・研究を行い、コンクリート製品業界の健全な発展と国土の保全に寄与してまいります。

※4月より『一般社団法人 北陸土木コンクリート製品技術協会』 <http://www.hokudocon.jp>